



# 学校たより

横浜市立並木中学校

令和5年9月26日発行

発行者 校長 土信田園子

住所 金沢区並木3-4-1

電話 045(783)5805

## 今年もチャレンジの秋

校長 土信田 園子

9月が終わろうとしているのに、日中は暑い日が続いています。朝の陽ざしも強く、子ども達は毎朝、まぶしそうな顔で「おはようございます」の挨拶を返してくれます。

コロナ禍が始まってから初めて、感染症の影響で本校も学級閉鎖の判断を余儀なくされました。閉鎖中に部活動の公式戦が入っていて、参加できずに悔しい思いをした2年生もいました。校内では文化発表会に向けての活動が、全ての学級で始まっていますが、心の距離は「密」でも、感染症対策は忘れずに活動に励んでほしいと願うばかりです。

さて、本校では学校教育目標の具現化に向けて、教科や総合・特別活動等で様々な仕掛けを計画し日々の教育活動を実践しています。今年度も教科指導や道徳・人権学習の場面、健康や安全教育の場面、自分づくり教育や委員会活動、行事等のあらゆる場面で3つの力の育成にこだわって計画・立案(仕込み)・実践(仕掛け)をしています。

～育成を目指す資質・能力～

○ 気づき・考える力 ○ 先を見据えて行動する力 ○ 発信する力・伝え合う力

気づき、考えて伝え合う力の伸長に向けて、今年度も「NIE教育」に取り組んでいます。社会科担当と学校図書館司書の先生を中心に、新聞を通じて、自分が生きている社会の動きを理解し課題を知り、解決に向けて考え、話し合い、自分の意見を表現していくという活動です。社会科や総合の時間、新聞コンクールへの参加を通じて、意見交換を行う機会を設けたりしています。

今年度、新しく「かながわ学力分析」という模試を全学年で導入しました。(2,3年生…5教科、1年生…3教科)生徒自身が現在の学力(「知識・技能」「思考・判断・表現」の2観点)を把握し、見通しを持った学習を進められるよう個人成績表も提示されます。特に3年生については、神奈川県立高校入学者選抜の傾向を踏まえた問題内容で、この結果から入試の得点を予想した「入試推計得点」も把握できます。全学年、試験範囲は配付しましたので、お子さまと一緒に確認をしてみてください。

文化発表会[演示の部]は、全ての学年が演劇発表に挑戦します。また、PTA役員の皆さんも久々の[展示の部]に参加してください(夏休み前から準備をしています)。4,5組は、合同体育祭に向けての練習がいよいよ始まります。そして新人戦が継続している部活動もあります。やっぱり活動的になる秋はいい季節だなあと思います。

今年も校内の様々なところで、子どもと大人が共にチャレンジしていく姿が、たくさん見られることでしょう。

小中ブロック校 共通スローガン

あいさつで 心豊かな 一日を

## 🌻柴マリン夏祭り・サマーフェスタ🌻

7月22日(土)は「なぎさ祭り」や「柴マリン夏まつり」が開催されました。カメギ根公園での「柴マリン夏まつり」には、吹奏楽部が演奏で参加しました。

7月29日(土)30日(日)は、金沢シーサイドタウン・サマーフェスタが行われ、並木中学校生徒会役員や有志で、ふなだまりのメインステージでの司会を務めました。サマーフェスタの一日目に本校の吹奏楽部も出演し、「青と夏」「ただ君に晴れ」「夏祭り」「宝島」を披露しました。

福祉委員会は、サマーフェスタ会場や周辺の清掃ボランティアへの参加を呼びかけました。早朝にも関わらず11人が参加をしました。ごみの分別を協力して行うことはもちろんですが、「こんなものまで落ちている!」と驚きの声もありました。

PTA 校外委員会は、教職員と一緒に祭礼パトロールを行いました。ご協力いただきありがとうございます。

子どもたちのふるさとを愛する気持ちがあふれ、地域との交流を図る機会になりました。



サマーフェスタでの演奏の様子



サマーフェスタ翌朝の清掃活動の様子

## ◆◇文化発表会へ向けて◇◆

前期期末試験も終わり、文化発表会への取組が始まりました。

【演示の部】では3学年共、演劇を選択し、1年生は桃太郎、2年生は大きなカブ、3年生はToy Storyを披露します。また、4、5組のトーンチャイム発表や代表生徒による国際平和と英語のスピーチ、吹奏楽部の演奏もあります。【展示の部】では日頃の学習の成果を学習センターに展示します。

実行委員を中心に、一人ひとりが役割を持って活躍できる場を考えています。一人ひとりの個性が輝く瞬間がたくさん見られる活動になってほしいと思います。

(文化行事実行委員会担当教諭)

今年の文化発表会のスローガンは「無限大～最少で最強の輝き～」です。このスローガンには、「横浜市で一番人数の少ない生徒数になったけれど、一人ひとりの個性は最強で、その輝きが無限大に広がるような文化発表会にしたい!」という想いが込められています。僕はこの文化発表会を通して、お互いの輝く個性を認め合い、学年はもちろん、学校全体の仲が深まってほしいと思っています。みんなが「最高に楽しい!」と思えるような時間をつくれるように頑張りたいと思います。

文化行事実行委員長

## ♡♡2年生 仕事のまなび場 Jr.♡♡

9月21日(木)に「仕事のまなび場 Jr.」が行われました。

高等専修学校の先生方が来校し、仕事に就くうえで必要なことなどのお話と専修学校の模擬実習をしました。生徒たちは、日頃の学校生活では経験することのできない様々な活動を行うことができ、とても良い表情で取り組んでいる様子が見られました。各校の先生方より実習の様子を聞かせてもらったところ、どこの場所でも、生

徒のみなさんが前向きな態度で、真剣に取り組めていました。とお褒めの言葉をいただきました。

以下生徒たちの振り返りです。 (2 学年主任 )

○アイム湘南理容美容専門学校 (ネイルアート、ワインディング体験)

ネイルの小さいチップに絵を描くことやウィッグにパーマをすき間なく巻くことが難しかったです。あらためてお客さまが満足するものにするまでの工程は大変だと思いました。



○生蘭高等専修学校 (PCでキーボードレッスン、表計算体験)

今回の体験で表計算をしたが、思っていたよりも難しくなく、これからも使っていこうと思いました。先生が話してくれた中で「行動している間に気持ちは変わる」「行動しないと何も始まらない」という言葉がとても印象的でした。これから社会を生きていく中で、今日学んだことをいかして歩いていこうと思いました。



○ヨコスカ調理製菓専門学校 (きゅうりの飾り切り体験)

今回体験をして特に印象に残っているのは「あいさつ」のことです。私は、食べるときにちゃんとあいさつはするのですが、先生のお話を聞いて、もっと気持ちを込めてあいさつをしないといけないと思いました。また、食べるときだけではなく、あいさつをするときには常に気持ちを込めてしたいと思いました。



○横浜デザイン学院 (自分でデザインした缶バッジ作り)

今回、先生の話聞いて、頭の柔軟な発想などがファッションやマンガを作るのに大事で、自由で何事にもチャレンジすることが大切だということがわかりました。

○横浜芸術高等専修学校 (ダンス体験)

年上の方との交流の仕方や接し方を学ぶことができた。また、進路の道にはこんな選択もできて素敵だなと感じた。ダンスもちょっとした基礎だけしっかりと学ぶことができた。今回学んだことを進路選択の時などにいかしていきたいと思います。



## ☀️ 1年生 校外学習@足柄 ☀️

9月14日(木)に1年生はPAA ロープスコースにてプロジェクト・アドベンチャーに取り組みました。プロジェクト・アドベンチャーは「①本気(マジ)で②みんなで③安全に④話す⑤聴く」の五つの約束を守りながら、クラスのメンバーと協力し、ファシリテーターさんから出される様々なミッションに挑戦することで、「生徒の主体性を育む」ことを目的としています。はじめのうちは、戸惑いながらも、五つの約束を意識しながら、声を掛け合って、様々なミッションに果敢に挑む姿がみられました。うまくいかなかった活動もあったようでしたが、その際にはファ





シリテーターさんと、良かったこと、改善点をしっかりと話し合い、次の活動につなげることができていたようです。指示やアドバイスを出し合うなど、普段の授業の場面では、なかなか見ることのできない姿を見せる生徒もおり、非常に充実した一日になりました。

(1 学年校外学習担当教諭 )

## ★10月の予定★

1	日		16	月	一斉下校 14:35
2	月	文化行事実行委員会	17	火	文発展示・演示準備
3	火		18	水	4,5組合同体育祭 演示リハーサル
4	水	一斉下校 15:20	19	木	令和5年度文化発表会
5	木	小中ブロック授業参観 14:30下校	20	金	選挙管理委員会 SC
6	金	前期連絡票配付 SC	21	土	
7	土		22	日	
8	日		23	月	3学年面談(~27日)学校を開く週間
9	月	スポーツの日	24	火	
10	火	期分け式 委嘱式	25	水	児童生徒交流日
11	水	定例会	26	木	2学年職場体験打合せ
12	木	評議会 選挙管理委員会	27	金	2学年職場体験打合せ
13	金	3年進路説明会 選挙公示	28	土	かながわ学力分析 地区懇談会
14	土		29	日	
15	日		30	月	1,2年進路説明会
SC…スクールカウンセラー			31	火	4,5組区合同宿泊学習 定例会 選管

## 支援教室「あじさい」開室！

本校では、一人ひとりに寄り添ったサポートをすることを目的に、特別支援教育を推進しています。



学級や学年などの活動で悩みが見られる場合や、学習において困り感を持つ場合など、生活や学習上で必要な力を伸ばせるように生徒一人ひとりに寄り添った支援をします。そのための学習スペースとして、「あじさい」を開室しました。もし、お子さまの学習面や生活面での成長に関わるお悩みがありましたら、担任の先生を通じてお気軽に特別支援教育コーディネーターまでご相談ください。

【窓口】特別支援教育コーディネーター 小林敦・澤野奈緒子・富澤敦子